


2019年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

道府県・政令市名【 宮城県 】

学校名【 宮城県泉高等学校 】

1 実践テーマ	I・II・III・ IV ・V（複数選択可）
2 実施対象者 (学年・人数)	泉高等学校 海外研修参加生徒 (普通・英語科 1学年 男子 15名 女子 25名)
3 展開の形式	学校における活動 行事名(普通・英語科 1学年 海外研修)
4 目標 (ねらい)	本校の英語科における様々な教育・学習活動を通じて、日本文化への理解を深めるとともに、異文化理解・国際交流に主体的に取り組む態度を養う。
5 取組内容	<p>(予定)1年生普通・英語科の海外研修において、オーストラリア現地校の生徒に対して、英語で日本文化等を紹介するとともに、東京オリンピック・パラリンピックをPRする活動を行う。</p>  <p>(写真は昨年度)</p>
6 主な成果	<p>昨年度海外研修の感想より</p> <p>男子:この10日間で、学んだことはたくさんありました。そのなかでも一番大切なことは自ら話すことだと思いました。言語が違うからこそ、何か言わなければ、自分の状態は知ってもらえません。相手が悟ってくれるわけありません。だからこそ、自分の積み重ねてきた語学力で伝えなければなりません。</p> <p>女子:5日間現地校に通い、私たちは多くのことを学ばせてもらいました。学校でやることは全てのことが新鮮に感じられ、毎日学校に行くたびに色々なことを吸収でき、家に帰ってからホストファミリーにその日学校で学んだことについて質問したり、もっと詳しいことを聞けたりして、さらに理解を深めることができました。特にアポリジニの学習をしたとき、私はドリームタイムのことがよくわからなかったので、ホストマザーに聞いたところ、教養がない子供たちでもこの世の不思議なことが理解できるように作られた架空のお話であると教えてもらえました。学校で教わったことによって日本以外の国の文化が少し理解できた気がしてとても嬉しかったです。</p>

7実践において工夫した点 (事業の特色)	生徒が、日本文化や東京オリンピック・パラリンピックについて発信する活動の際は、事前の準備をしっかり行わせ、自信を持って相手に伝わるようにした。伝わることが一番の自信につながる。
8主な課題等	一部で性格的に積極的に外国人とコミュニケーションをとれない生徒もいた。
9来年度以降の実施予定	今年度実施できなかった「パラリンピック理解教育」などを取り入れて継続していきたい。